

海外で薬剤師を 目指す

情報ゼロ、英語力ゼロからスタートして
海外を目指す秘訣



【推奨環境】

この E-book 上に書かれている URL はクリックできます。できない場合は最新の AdobeReader をダウンロードしてください。(無料)

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

【著作権について】

この E-book は著作権法で保護されている著作物です。

下記の点にご注意戴きご利用下さい。

この E-book の著作権は作成者に属します。

著作権者の許可なく、この E-book の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

この E-book の開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。

この E-book は秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。

この E-book に書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。

この E-book の作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

この E-book を利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

目次

■はじめに■.....	6
① 平凡な薬学生でも海外薬剤師になれる	6
② 本を 30 冊買ってしまった私の失敗	7
③ 英語が話せないからとスタートを遅らせた失敗.....	8
④ まずは「知ること」から始めよう	8
■CHAPTER. 1■ 海外の薬剤師のイメージ	10
薬学的な能力を発揮できる	10
残業がなくプライベートが充実している	10
尊敬される、自信になる.....	10
多くの権限がある	11
自己研鑽できる最高の場.....	11
■CHAPTER. 2■ どの国で薬剤師になるか?	13
1. 薬剤師免許のトランスファー(移行)が可能かどうか	13
2. 英語試験の難易度	15
3. 家族や友人、知り合いがいるかどうか.....	16
4. ワーキングホリデーが使えるか	16
5. 薬剤師の給料	17
6. 安全性	19
最終的になぜカナダにしたのか?	20
■CHAPTER. 3■海外で薬剤師になる方法(ざっくり)	23
ざっくり分けると2つの方法がある.....	23
1) 現地の薬学部を卒業する	23
2) 日本の薬剤師免許をトランスファー(移行)する	24
私の選んだ方法とその理由	25
どこの国もトランスファーは基本、同じ方法である	25
1. アメリカ	27
2. カナダ	28
3. オーストラリア	29
4. イギリス	30

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

■CHAPTER. 4■ 海外で薬剤師になる方法(具体的に)～カナダの例を使って～	32
1. 書類審査 DOCUMENT EXAM	33
2. EVALUATION EXAM (海外薬剤師のための試験)	33
EVALUATION EXAM の例題を解いてみよう！！	34
3. ENGLISH EXAM (英語試験)	35
4. 大学のブリッジングプログラム & インターンシップ	37
5. QUALIFYING EXAM(国家試験)	38
6. JURISPRUDENCE EXAM(法律の試験)	39
■CHAPTER. 5■ 成功に必要な5つのファクター	41
1 情報	41
2. お金	42
3. ビザ	43
4. 英語	44
5. タイミング	45
■CHAPTER. 6■ 今からできる英語勉強法	47
1. 薬剤師のための英語勉強法は、他の人とは違う	47
2. 英語の重要性の順番は、READING> LISTENING> SPEAKING> WRITING	48
3. 「READING」を徹底的にやる方法	49
■CHAPTER. 7■ GATEWAY CANADA を使ってみる	52
1. GATEWAY CANADA(ゲートウェイカナダ)って何？	52
2. 実際に GATEWAY CANADA を見てみる	53
■最後に■	59



Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

□はじめに□

① 平凡な薬学生でも海外薬剤師になれる

大学4年生当時の私のスペックを紹介します。

- 私立大学の普通の薬学生
- 成績は下位 1/3
- 追試 2-3 科目 / セメスター
- 英語は TOEIC 450 点ほど
- スピーキング片言(なんとか通じるぐらい)
- 海外に友人や家族なし

私はとても平凡な薬学生でした。

平凡どころか、平均以下だったと思います。

しかし、海外で薬剤師になる夢だけは持っていました。

そして、苦勞の末、

なんとかカナダで薬剤師になることができました。

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

たとえ英語が苦手であっても、夢や目標を持ち、継続して努力することで、海外で薬剤師になることは可能なのです。

② 本を 30 冊買ってしまった私の失敗



みなさん、この写真は何でしょうか？！

私が買って、ほとんど読まずに捨ててしまった本たちです。(泣)

当時の私は、海外で薬剤師になる方法について何も知らなかったため、手当たり次第、本を買っていたのです。

海外の薬剤師になる上で、難しい理由の1つは、「情報不足」です。日本語で Google してみるとわかると思いますが、検索できる

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

のは、個人のブログがいくつか出てくるだけです。

③ 英語が話せないからとスタートを遅らせた失敗

私は英語が苦手だったので、26歳の時に海外に出発しましたが、これも失敗でした。もっと早く出発すればよかったと思いましたが、もう少し早く出発できたら、もう少し早く薬剤師になることができたと思います。なぜなら、海外で薬剤師になるために一番大事なことは英語力ではない、からです。

英語の勉強方法については、別のチャプターで詳しく説明します。

④ まずは「知ること」から始めよう

私が本を無駄に買ってしまったり、英語ができないからと怖気づいたり、「知らない」ことはとても不利なことです。そこでこの本は、海外に興味のあるあなたに、「ゼロから海外で薬剤師になるための方法」について情報をシェアします。

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

Chapter. 1

海外の薬剤師のイメージ

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

□Chapter. 1□ 海外の薬剤師のイメージ

薬学的な能力を発揮できる

テクニシャンやアシスタントが、あなたの代わりに技術的な仕事をしてくれます。私たちが時間を使うのは、服薬指導や OTC カウンセリング、処方提案など薬学的な思考が必要なものだけです。

残業がなくプライベートが充実している

残業はほとんどありません。薬局が閉店したら、すぐに帰り、友人や家族と貴重な時間を過ごします。また薬歴の記載も不要で仕事もがたまることはありません。仕事はとても効率的でシンプルです。

尊敬される、自信になる

数々の薬学的な難しい判断、患者からの心からの感謝の言葉。薬剤師であることが誇らしいとさえ、感じます。医療の中心は薬剤師と

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

感じさせてくれます。

多くの権限がある

権限があるからこそ、人を救い助けることのできる機会であふれています。ワクチン接種、リフィルや処方権など、信頼されている薬剤師だからこそ実施することが許されています。権限には責任が伴いますが、それこそ薬剤師の職能を発揮するチャンスです。

自己研鑽できる最高の場

海外はもっと勉強したい人には最高の場所です。1日薬局で働いてみるとわかりますが、薬学的な判断を常に求められます。医師やテクニシャン、患者からの質問に答える。また、権限を行使するための「妥当な判断」をすることが必要です。薬物療法はあなたの自己研鑽次第で自由自在に変わるでしょう。

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

□Chapter. 2□ どの国で薬剤師になるか？

どの国で薬剤師になるかを決めるのは、非常に難しいです。

私自身も非常に悩みました。最終的にカナダに行くという結論を出すために、色々な点を検討しました。

このチャプターでは、私が行く国を選んだ方法についてシェアしたいと思います。

1. 薬剤師免許のトランスファー(移行)が可能かどうか

トランスファーとは、日本の薬剤師免許を元にして、他の国の薬剤師免許を取る、ということです。トランスファーは【移す】という意味ですが、他の国の免許取得後、日本の薬剤師免許がなくなることはありません。一部の国では、日本の薬剤師免許がトランスファーできないので、重要なポイントだと思います。

(トランスファーについては Chap3 以降で詳しく説明します。)

当時私は、カナダと同時にアメリカ行きも検討していました。

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

しかしながら、

■ FPGEEの受験資格

ただしこのFPGEEという試験、日本人薬剤師なら誰でも受験資格がある訳ではないのです。残念ながら2018年現在31～36歳の4年制卒の日本人の場合、大学院を修了していない限りは受験資格は得られません。何故ならこの受験資格、5年以上のカリキュラムを修了していること、もしくは2003年以前に薬学部を卒業していることです。詳しくは公式サイト参照してください。

FPGEC | National Association of Boards of Pharmacy

「薬屋、シアトルに移住する」さんのサイトから転載

<http://kusuriya-us.hatenablog.com/entry/pharmacist-us>

という現状によりアメリカ行きをあきらめました。

これは国によって異なってきます。

そして、この「日本の薬剤師免許をトランスファーできるかどうか」

をチェックする試験が、各国が実施する「書類審査」ということです。

ほとんどの大学において、書類審査は合格しているようですが、私のように4年制課程を卒業している場合などは注意する必要があります。

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

2. 英語試験の難易度

各国が薬剤師にもとめている英語スコアは異なります。私が 2019 年に調べた情報をまとめます。完全に網羅しているわけではなく、またスコアはすぐに変わりますので、公式ホームページから再度確認することをオススメします。

		R	L	W	S	0v
アメリカ	TOEFL	22	21	24	26	93
カナダ	TOEFL	N/A	N/A	25	27	
	IELTS	6.0	6.0	6.0	6.0	7.0
イギリス	IELTS	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0
オーストラ	TOEFL	24	24	27	23	94
リア	IELTS	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0

参考サイト

<https://www.ahpra.gov.au/Registration/Registration-Standards/English-language-skills.aspx>

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

3. 家族や友人、知り合いがいるかどうか

知り合いのいない、全く未知の国に行くことは非常にハードルが高いです。生活の仕方や治安など、実際に生活している人に聞いてみるとわからないことがあります。そんな中、頼れる誰かがいるのは非常に心強いと言えます。私の場合、直接の知り合いはいませんが、友人の友人がカナダで薬剤師をされており、カナダ薬剤師というキャリアがぐっと近く感じました。

4. ワーキングホリデーが使えるか

ワーキングホリデーは日本人の18歳から30歳までが使える「一度きりの労働ビザ」です。これを使えば、ほぼ無条件で1年間該当の国で働くことができます。（もちろんその国の薬剤師免許があれば薬剤師としても可。）非常に強い武器です。

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

ワーキングホリデーの実施国、年齢制限、ビザ申請費用一覧

国名	年齢制限	ビザ申請費用
オーストラリア	18歳～30歳	420豪ドル
カナダ	18歳～30歳	150カナダドル
ニュージーランド	18歳～30歳	無料
イギリス	18歳～30歳	240ポンド
アイルランド	18歳～30歳	無料
フランス	18歳～30歳	無料
ドイツ	18歳～30歳	無料
デンマーク	18歳～30歳	無料
ノルウェー	18歳～30歳	3700ノルウェークローネ
韓国	18歳～30歳	無料
台湾	18歳～30歳	無料
香港	18歳～30歳	無料
ポーランド	18歳～30歳	無料
ポルトガル	18歳～30歳	無料
スロバキア	18歳～30歳	33ユーロ
オーストリア	18歳～30歳	無料
ハンガリー	18歳～30歳	無料
スペイン	18歳～30歳	無料

<https://intern-college.com/blog/omoto03/> から転載

●1 点注意すべき点は、アメリカではワーキングホリデービザの制度はないということです。

5. 薬剤師の給料

かなり気になってくるのが、「給料」ではないでしょうか。

努力した分の報酬があると、モチベーションも上がりますよね。

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

こちらの表は、「Salaries HUB」というサイトから転載した、各国の薬剤師の給料の比較です。この表は、「Payscale.com」というサイトのデータを元に作成されています。

HOW MUCH DOES A PHARMACIST MAKE PER YEAR BY COUNTRY?

Pharmacist Salary	US	Canada	UK	Australia	New Zealand	India	South Africa
Hourly Pay	\$57.26	C\$45.34 (\$36.22)	£19.13 (\$25.22)	AU\$32.18 (\$25.04)	NZ\$33.45 (\$23.64)	Rs 101.74 (\$1.56)	R232.04 (\$16.91)
Annual Pay	\$110,866	C\$86,346 (\$68,981)	£34,520 (\$45,507)	AU\$65,614 (\$51,053)	NZ\$69,528 (\$49,142)	Rs 218,846 (\$3,350)	R423,935 (\$30,900)

Salaries Hub から転載

<https://salarieshub.com/pharmacist-salary/>

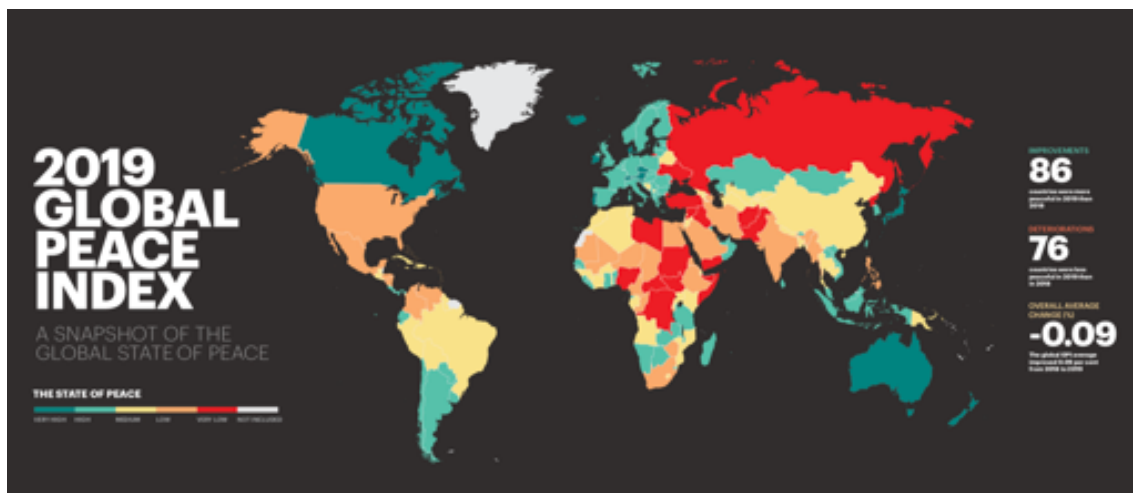
アメリカの給料が時給 57 ドル(US ドル)と群を抜いていますね。カナダは 36 US ドル、イギリスとオーストラリアは 25 US ドル、ニュージーランドは 23US ドル、インドは 1.56US ドルです。日本の薬剤師の時給を 2000-2500 円で計算すると、18-23 US ドルといったところでしょうか。

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

6. 安全性



薬剤師と働くということは、その国で生活をするということです。

生活をするなら、「安全性」は重要なポイントです。

Global Peace Index は犯罪、テロや戦争の有無などを元に算出された「国の安全性」のデータです。主要国を下記に載せます。

2 位 ニュージーランド

6 位 カナダ

9 位 日本

13 位 オーストラリア

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

45 位 イギリス

128 位 アメリカ

これはあくまで国全体でのデータなので、都市によってはより安全な場所、危険な場所があるということも知っておいた方がよいでしょう。

最終的になぜカナダにしたのか？

結論をいうと、

- 1) 薬剤師免許がトランスファーできるかどうか
- 3) 知り合いがいる
- 6) 安全性

の3つの点が私にとって重要だったからです。

これは人によって異なってくると思いますが、薬剤師免許をトランスファーする方法で薬剤師を目指される方にとっては、1)は必須の

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

条件になってきます。

2) 英語試験の難易度はそこまで私は気になりませんでした。(留学を決めたときは、各々の国の難易度まで把握していませんでした。) 薬剤師として最終的に働く以上、英語試験は誰もが通らなくては行けない壁です。しかしあらためて見ると、カナダの IELTS で求められる点数の低さは少しラッキーかなと思います。

3) の知り合いがいることは非常に強いと思います。試験までのステップや詳しい勉強方法についてアドバイスをもらえるのは心強いです。

6) 安全性ですが、カナダに長く住んでみて大事だなと思います。安全に慣れきった日本人からすると、安全な国に住みたいものです。

あくまでこれは私の価値観から考えたものですので、みなさんは、みなさんの視点を大事にして、行きたい国を選べたらいいなと思います。

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

Chapter. 3

海外で薬剤師になる方法(ざっくり)

Shimpei のブログを応援してください

<http://shawnsworld.net>

□Chapter. 3□海外で薬剤師になる方法（ざっくり）

ざっくり分けると2つの方法がある

海外で現地の薬剤師として働くための方法には、大きく分けて2つあります。

- 1) 現地の薬学部を卒業する
- 2) 日本の薬剤師免許をトランスファー(移行)する

1) 現地の薬学部を卒業する

現地の薬学部に通い直し、イチからスタートする方法です。

- 学費は 200-300 万/year
- 生活費やその他の費用を足すと、合計 2000 万程度

大学に入るまでの費用や足りない単位などの取り直しが必要（英語学校や Community College に行く費用も必要）

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

メリット：海外の大学でしっかりと学ぶことができる。

デメリット：時間とコストが非常にかかる。

2) 日本の薬剤師免許をトランスファー(移行)する

日本の薬剤師免許を元に、現地の薬剤師免許を取得する方法です。

トランスファーは「移す」という意味ですが、海外免許を取得後も日本の薬剤師免許はこれまでとおり使えます。ただし「移す」といっても、まだ数々のステップが残っており、英語試験や現地の国家試験などは受け直すことになります。大学に通いなおす必要がないため安価ですむメリットのある一方、かなり独学で勉強する必要があります。とはいえ、いまだに多くの薬剤師が選んでいる方法です。

- 費用は安価で済む場合が多い（ 500 万前後？ ）
- 努力次第で短期間での免許取得が可能（ 2 年前後？ ）

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

メリット→ 費用と時間が短く済む

デメリット→ 現地での教育を十分に受けられない、独学が必要

私の選んだ方法とその理由

私は、2)の日本の薬剤師免許をトランスファーする方法を選びました。どちらもメリット・デメリットがありますが、こちらの方が現実的な方法だと思います。主な理由として、1) 資金が安くすむ
2) 時間が短くてすむ、の2点があげられます。

仮に1)の大学に通い直す方法を選んだ場合、1000-2000万円をためるためにどれだけかかるでしょうか。年間200万円ためたとしても5-10年かかってしまいます。

どこの国もトランスファーは基本、同じ方法である

ここからは、「トランスファー」にしばってお話していきます。トランスファーは、国によって多少異なりますが、どこの国も基本、

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

同じです。全体のステップを分けると、下の6つが必要になってくる国が多いです。

1. 書類審査
2. 英語試験
3. 評価試験(海外の薬剤師のための試験)
4. 大学での Briding program(ブリッジング プログラム)
5. インターンシップ
6. 薬剤師国家試験(筆記試験 & OSCE)

簡単にですが、実際に4つの国(アメリカ、カナダ、オーストラリア、イギリス)について、トランスファーの方法を記載したので、一度見て頂けたらと思います。

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

7.

1. アメリカ



- 英語試験 TOEFL ibt
- 書類審査 ECE
- 評価試験 FPGEE
- インターン 500-2000 時間
- 国家試験 NAPLEX

参照 Tomorrow's pharmacist '' how to gain your licence to practice as a pharmacist in the US. ''

<https://www.pharmaceutical-journal.com/test-tomorrows-pharmacist/tomorrows-pharmacist/how-to-gain-your-licence-to-practise-as-a-pharmacist-in-the-us/11128041.article?firstPass=false>

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

2. カナダ



- 書類審査 Document Exam
- 評価試験 Evaluation Exam
- 英語試験 English Exam
- インターン&学校 Internship 3-6month (and bridging program
- 国家試験(筆記とオスキー) Qualifying Exam

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

3. オーストラリア



- 書類審査 APC Skills assessment
- 評価試験 KAPS Exam
- 英語試験 Occupational English Test (or IELTS)
- インターン Internship 1year
- 国家試験(筆記とオスキー)written exam and OSCE

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

4. イギリス



- IELTS (英語試験)
- OSPAP プログラム (1 年)
- インターンシップ (52 weeks)
- 国家試験 the GPhC registration assessment

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>



～カナダの例を使って～

<http://shawnsworld.net>

□Chapter. 4□ 海外で薬剤師になる方法(具体的に) ～カナダの例を使って～

ここではカナダの例を使って、試験の内容をもう少し詳しくみていきたいと思います。

カナダで薬剤師になるためのステップは以下の通りでした。

1. 書類審査 Document Exam
2. 評価試験 Evaluation Exam
3. 英語試験 English Exam
4. ブリッジングプログラム & インターンシップ
bridging program & Internship
5. 国家試験 Qualifying Exam

では、上から順番に試験の概要を見ていきたいと思います。

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

1. 書類審査 Document Exam

日本の薬学部の教育内容が、カナダの薬学部の教育と同等であるかを評価する試験です。これは書類を出すだけであり、Exam という名前ですがテストではありません。

- 卒業証書や大学の成績証明書などを送る
- シラバスの提出が求められることもあり
- かかる時間の目安：1～2 か月
- かかる費用：665CAD

2. Evaluation Exam (海外薬剤師のための試験)

生化学や薬理学、薬剤学、薬物動態学などの評価試験。この試験がカナダで薬剤師になるための、1つ目の関門と言われています。

- マークシート方式
- 日本の薬剤師国家試験の範囲でほぼカバーできる
- かかる時間の目安：6 か月～
- かかる費用：850CAD

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

Evaluation Exam の例題を解いてみよう！！ → 全体を四角で囲い

たい

https://www.pebc.ca/index.php/ci_id/3126/la_id/1.htm

(PEBC ホームページから引用)

例題 1

Which of the following diuretics is used to block the $\text{Na}^+ -$

H^+ exchange system of the renal tubule?

- a. Furosemide
- b. Hydrochlorothiazide
- c. Spironolactone
- d. Acetazolamide
- e. Amiloride

例題 2

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

Which of the following enzymes catalyzes the synthesis of
DNA from viral RNA?

- a. Reverse transcriptase
- b. DNA polymerase
- c. RNA polymerase
- d. Endonuclease
- e. Aminoacyl-tRNA synthetase

3. English Exam (英語試験)

英語力を評価する試験です。カナダの場合、IELTS や TOEFL などから好きなテストを選ぶことができます。日本の TOEIC とは異なり、Listening, Reading, Writing, Speaking の 4 技能を図るテストです。

- 2 年ごとに再試験が必要
- 州によって求められるスコアが異なる

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

- かかる時間の目安: 3- 6 か月 (本人の英語力による)
- かかる費用: 2-3 万/回
- カナダの BC 州で必要な英語スコア (州ごとにスコアが異なる)

Test	Details		Minimum Score with SEM*
1. Test of English as a Foreign Language (TOEFL)	Internet-based test (iBT)	Reading	-
		Listening	-
		Speaking	25
		Writing	22
		Total Score (All Components)	92
2. TOEFL	Computer-based test (CBT)	Test of Spoken English (TSE)	50
		Writing	21
		Total Score (All Components)	227
	Paper-based test (PBT)	No longer accepted	
3. Michigan English Language Assessment Battery (MELAB)	Composition – Part 1		79
	Listening – Part 2		-
	Grammar, Cloze, Vocabulary, Reading (GCVR) – Part 3		-
	Speaking test		3+
	Final Score (All Components)		82
4. International English Language Testing System (IELTS)	Academic format	Listening	6
		Reading	6
		Writing	5.5
		Speaking	5.5
		Overall Band Score (All Components)	6.5
5. Canadian Test of English for Scholars and Trainees (CanTEST)		Speaking	4.5
		Writing	4.5
		Reading	4.5
		Listening	4.5

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

4. 大学のブリッジングプログラム & インターンシップ

大学のブリッジングプログラム

カナダ国外の薬学部卒業生を対象に、「現場とのギャップ」を埋めるために作られたコースです。

- ・ 参加が必須となっている州もある
- ・ BC 州のプログラムは 3 か月で、100 万程度
- ・ コストはかかるが、今後の薬剤師のキャリアを考えると、安い投資

☆魅力的なブリティッシュコロンビア (BC) 州のプログラム



<https://cpd.pharmacy.ubc.ca/programs/international-pharmacy-graduate-ipg/why-ubc-canadian-pharmacy-practice-program>

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

- PharmD を持つ薬剤師陣による薬物治療学の講義
- 異文化に入る海外薬剤師のためのコミュニケーション論
- カナダの国や BC 州の法律について
- マルチタスクを求められるラボでの実践的な授業
- 薬剤師のキャリアアップのためにぜひ参加したい

インターンシップ

カナダの薬局での実務実習です。薬剤師の監視の元で、監査から投薬、OTC カウンセリングなど薬剤師業務を全て経験します。

- インターンシップは 3-6 か月と州によって異なってくる
- この間に大量の課題の提出が求められる

5. Qualifying Exam(国家試験)

カナダの薬剤師になるための最終試験です。これに受ければ、晴れて薬剤師として働くことができます。カナダの薬学生も受けるので、試験の難易度は中々難しいです。

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

- 筆記試験とオスキーの2つの試験がある
- 筆記試験は実臨床に関わる試験が多い。
- オスキーは7分間のロールプレーで、医師や患者を相手にする。
- コストは2000ドル程度と高い
(筆記試験 500ドル OSCE 1500ドル)
- かかる時間の目安: 6か月～(個人差が大きい)

6. Jurisprudence Exam(法律の試験)

薬局や医薬品の法律に関する試験です。州ごとに薬剤師の権限が異なっているので、州が管轄している試験です。薬剤師だけでなく薬局テクニシャンも同じ試験を受けます。難易度はそこまで高くありません。

- かかる時間の目安: 数週間～
- かかる費用の目安: 100ドル～

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

Chapter. 5

成功に必要な 5 つのファクター

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

□Chapter. 5□ 成功に必要な 5 つのファクター



情報



お金



ビザ



英語力



タイミング



1 情報

みなさんもすでにご存知の通り、海外で薬剤師になる方法について情報はあまりありません。その理由として、海外で薬剤師になった人はほとんどいないことがあげられます。しかし、私は個人的に「十分な情報」を集めることが一番大事であると考えています。なぜなら、十分な情報さえあれば、計画を立てられ、準備、すなわち勉強ができます。逆に情報がなければ、勉強も何もできないのです。

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>



2. お金

海外で薬剤師になるためには、まずは「資金」が必要です。特に最初に海外に滞在する時は、学校に行ったり、働けてもパートタイムなどで、十分にお金を稼ぐことは難しいと思います。したがって、あらかじめまとまった「お金」を日本で準備していくことがオススメです。テスト代や飛行機代、学費などの最低限のお金がないと、前に進むことができません。行く国や方法にもよりますが、最初に200-300 万くらいのお金は準備しておいた方が良いでしょう。

1 つの例としてカナダでの生活を紹介しますと、

滞在費(家賃+食費+その他)月 15 万円 x 滞在する月

で計算してみます。6 か月滞在すると 90 万円は必要です。

そこに交際費や飛行機代、テスト代や教科書代などを加えると 120-150 万くらいになるかと思います。

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>



3. ビザ

ビザは「許可証」のことです。学生ビザや労働ビザがないと、勉強も働くこともできません。カナダにただ滞在する場合(旅行などのとき)は問題ありませんが、「学ぶ」ときと「働く」ときは別です。

- 簡単にいうと、「学生ビザ」は学校に行くため、「労働ビザ」は働くために必要な許可証である。
- インターンシップやボランティアをするときも「労働ビザ」が必要

カナダのビザ種類

ビザの種類	滞在可能期間	就学可能期間	ビザ取得	仕事の可否
観光ビザ	半年	半年	申請免除 ※ カナダ到着後に取得	不可
学生ビザ	半年以上	就学期間 (半年以上の就学期間)	事前申請の必要 入学許可証・残高証明	語学学校生は不可 ※ 特定の学生は可
ワーキング ホリデービザ	1年間	半年	事前申請の必要 ※ 年齢制限・健康制限あり	幅広い仕事への従事が可

ココア留学 <https://55a.info/contents/visa/>

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>



4. 英語

海外で生活し、薬剤師として働く以上、英語は重要です。

しかし、海外で薬剤師を目指す上で、現時点の英語力はそこまで重要ではないと私は考えています。

冒頭でもお話しましたが、私の大学生のときの英語力は、

1. TOEIC450 点
2. スピーキング片言レベル

でした。

それでもここまでこれたのは、まずは Reading が一番大事という側面があるからです。それ以外の英語力は時間をかけてゆっくり伸ばしていけば良いと思います。(英語の勉強方法の詳細は Chapter6 を参照)



5. タイミング

人生のどこのタイミングで挑戦するか、これは非常に重要です。

なぜなら挑戦するタイミングは中々来ないからです。ましてや、行ったことのない「外国」、第1言語ではない「英語」。あなたにとって、最も大きなチャレンジになることは間違いないでしょう。したがって、早ければ早い方が上手くいきやすいと言えます。逆に、家族を持ったり、年齢を重ねると、難易度は上がっていくように感じます。しかし、念入りの計画さえできれば、誰でも成功できる可能性を秘めていると思います。

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>



今からできる英語勉強法



<http://shawnsworld.net>

□Chapter. 6□ 今からできる英語勉強法

1. 薬剤師のための英語勉強法は、他の人とは違う

実は多くの人が、日常会話ができないという理由で、海外で薬剤師になることをあきらめてしまっていますが、薬剤師の勉強方法は他の人と違ってしています。

多くの人が思っている勉強方法は、

「日常会話→ビジネス英会話→専門英語(医療英語)の順に勉強する」というものです。

これは他の人には当てはまるかもしれませんが、薬剤師は別の方法で勉強した方がいいと思います。

それは、いきなり医療英語を勉強する、という方法です。

これは一見、難しいように思いますが、これが最も効率的な英語勉強方法です。

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

2. 英語の重要性の順番は、Reading> Listening> Speaking>

Writing

スピーキングができないからと、「海外」をあきらめていませんか？ 実はスピーキングはそこまで重要ではありません。もちろん最終的には必要になるのですが、それは中盤から後半にかけてのステージです。

そして最初に必要になるのは、間違いなく「Reading」です。

その理由は、

- 薬剤師になる方法について英語で調べる
- 書類審査を出すときに公式ホームページを英語で読む

評価試験は英語で実施される

という過程をみなさんが最初に必ず実施するからです。

その後の順位は、Listening > Speaking > Writing ですが、これは

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

その後、必要になってくる順番に並べました。

また、よければこちらの動画も参照してください。



最速で海外で薬剤師になる方法

<https://www.youtube.com/watch?v=7d5KUo370qA&t=5s>

3. 「Reading」を徹底的にやる方法

ここでは、「Reading」を勉強する方法についてシェアしたいと思います。

1つ目が、カナダで薬剤師になるためのサイトである Gateway

Canada や PEBC のホームページを読むという方法です。（見方は次の

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

チャプターで説明します。) これが私の最もオススメな方法です。

なぜなら、重要な要素である「情報」を得るとともに、「英語力」を鍛えることもできるからです。効率的な勉強方法はとても大事です。

2つ目の方法として、Penguin Readers などの速読力を鍛える本を読むことです。これらの本は、自分の単語力に合わせた本を選ぶことができるので、速読力を鍛えることができます。ガンガン読んでいってください。

3つ目として、簡単な薬理学の本を読むことです。これも効率がよく、「英語力」と同時に「医療単語」や「薬理学」の総復習までできますが、難易度はやや高めです。

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

Chapter. 7

Gateway Canada を使ってみる

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

□Chapter. 7□ Gateway Canada を使ってみる



では最後に、Chapter6 で紹介した Gateway Canada を見てみましょう。

1. Gateway Canada(ゲートウェイカナダ)って何？

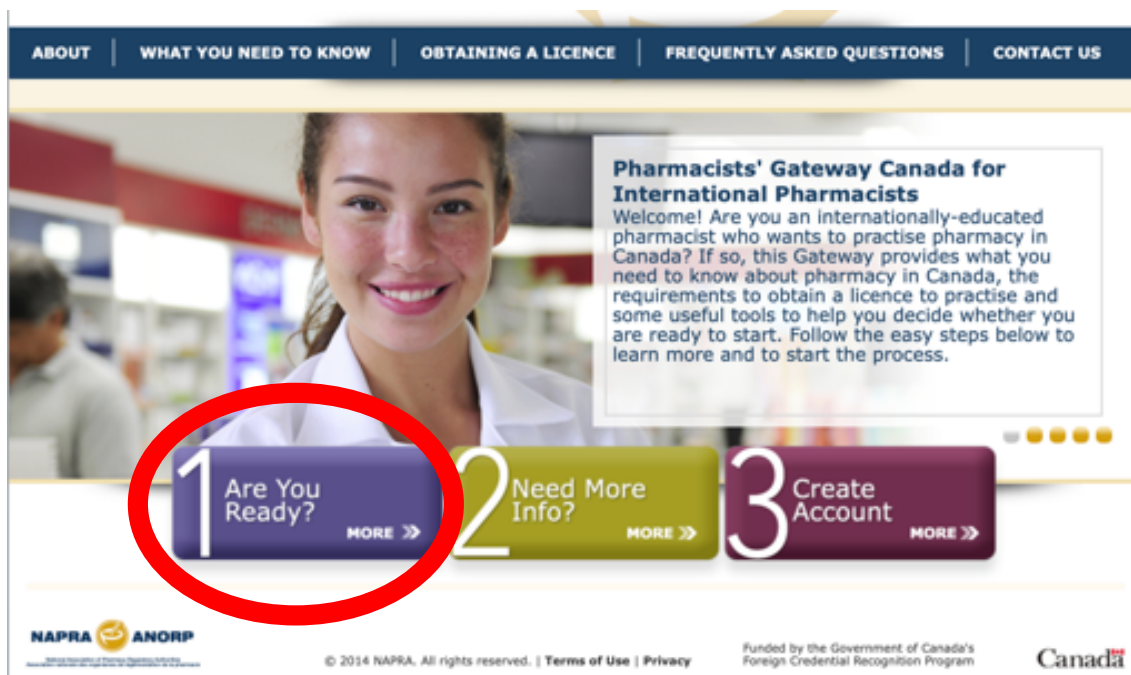
Gateway Canada は、カナダ国外で薬剤師になった人のためのサイトです。カナダで薬剤師になりたい世界中の人が、必ず最初に必ず見るサイトです。このサイトには、カナダで薬剤師になるプロセス、薬剤師の働き方、かかる時間や費用の目安、さらには、よく使われる単語まで紹介されています。つまり、このサイトをしっかり読めば、ほとんど全ての情報を得ることができます。

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

2. 実際に Gateway Canada をしてみる



<http://www.pharmacistsgatewaycanada.ca/index.shtml>

まず、ここがホームページです。

初めに紫色の「Are You Ready?」をクリックしてみましょう。

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

WHAT YOU NEED TO KNOW



What You Need to Know

- Steps to Licensure
- Licensure Requirements
- Costs and Time to Licensure
- Language Proficiency
- Practice Environments
- Education
- Coming to Canada
- Pharmacy Careers
- P4T New Pilot

WHAT YOU NEED TO KNOW ABOUT PHARMACY LICENSURE IN CANADA

The icons below contain information you need to prepare for the Canadian pharmacist licensure process.
Click on each icon to learn more.

- STEPS TO LICENSURE
- LICENSURE REQUIREMENTS
- COSTS AND TIME TO LICENSURE
- LANGUAGE PROFICIENCY
- PRACTICE ENVIRONMENTS**
- EDUCATION
- COMING TO CANADA
- PHARMACY CAREERS

そうすると、上記のページが表示されたと思います。

今回はあくまで、「Reading」を鍛えるために読んでるので、自分の気になったページに飛んでみましょう。

ここでは、左下の「Practice Environments」を読んでみることにします。（画像に文字を書き込むことは可能？）

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

YOU NEED TO KNOW



PRACTICE ENVIRONMENTS

Pharmacists play a critical role in Canada's healthcare system and are one of many professions which make up our country's healthcare system.

This section will provide information on Canada's healthcare system, the pharmacist's role, and the roles of pharmacy technicians and assistants.

You will also learn about pharmacists' scopes of practice—the services pharmacists are legally allowed to provide—in specific provinces and territories.

The practice of pharmacy is also evolving and expanding and pharmacists are taking on more responsibilities and activities than ever before. Pharmacists in Canada now perform activities such as prescribing medications, adapting prescriptions or providing injections according to the rules in their province or territory.

Pharmacists **play a critical role** in Canada's healthcare system and are one of many **professions** which make up our country's healthcare system.

This section will provide information on Canada's healthcare system, the pharmacist's role, and the roles of pharmacy technicians and assistants.

You will also learn about pharmacists' **scopes of practice**—the services pharmacists are **legally** allowed to provide—in specific provinces and territories.

The practice of pharmacy is also **evolving** and **expanding** and pharmacists are **taking on** more **responsibilities** and activities than ever before. Pharmacists in Canada now perform activities such as **prescribing medications**, **adapting prescriptions** or **providing injections** according to the rules in their province or territory.

play a role: ~の役割を果たす

professions: 職業

scope of practice: 職域

legally: 法的に

evolve: 進化する

expand: 広がる

take on responsibilities: 責任をもつ

prescribing medications: 薬を処方する

adapt prescription: 処方箋を編集する, 適合させる

provide injections: 注射を提供する

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

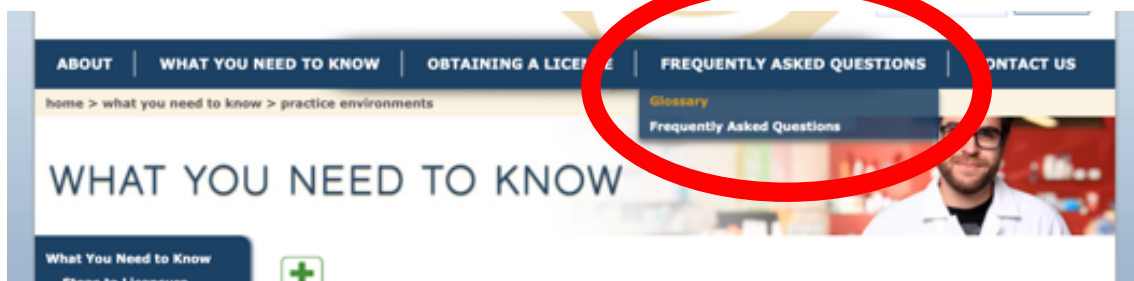
内容をざっと要約すると、

「カナダにおいての薬剤師の役割は非常に重要であり、処方権を使ったり注射をしたりなどして貢献している」

との内容が書いてありました。

いくつか難しい単語もありましたが、興味のあることなら、比較的英語に抵抗感なく読むことができたのではないのでしょうか？

● 海外を目指す薬剤師が知っておくべき単語



また、海外を目指す人なら知っておくべき英単語があります。

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

上の Frequently Asked Questions にカーソルをあわせてみてください。「Glossary」という項目が表示されるので、クリックしてみましょう。

GLOSSARY OF TERMS

Words and phrases used to describe licensure:

Accredited	Officially recognized as maintaining standards that qualify the graduates for admission to higher or more specialized institutions or for professional practice
Canadian Police Information Centre check	An examination of a person's criminal history through Canada's central police database
Certificate of conduct	An examination of a person's criminal history, generally used by employers to assess that person's trustworthiness
Character reference	A reference provided by someone who knows you and can attest to your character and abilities
Commissioner of oaths	An official authorized to take oaths or affirmations in a legal setting
Community pharmacy	Typically, a retail storefront combined with a dispensary where medications are stored and distributed

ここでは、「海外の薬剤師なら知っておくべき」単語の意味が説明されています。英語で説明されていますが、ここは辞書を使って頑張ってみましょう。

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

最後に&お知らせ

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

□最後に□

最後まで読んで頂き、本当にありがとうございました。

今後も、カナダ薬剤師 Shimpei のブログでは、海外薬剤師についての情報を中心にお届けしていきます。

今後、私が得たノウハウや情報は、メルマガやブログ、そして YouTube やツイッターを通して、どんどん更新して提供していこうと考えています。

「海外の薬剤師」というと、ハードルが高くて無理だと考えがちですが、正しい方法でコツコツとやれば、必ず道が開けるものだと私は信じています。あなたの挑戦をこれらも全力で応援していきますので、一緒に頑張りましょう！

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

お知らせ!!

「最速で海外で薬剤師になる全手法(仮)」

についてのノートを書きます(2019 年夏 8~9 月の予定)

このノートでは、

私が海外で薬剤師になるのにかかった、

「4年」を「2年」にするための全手法をもちこむ予定です。

たとえば、

- 「英語力ゼロ」からカナダで薬剤師になるまでの英語勉強法
- 使った教科書とそれらの使いこなし方

など

ご期待ください♪

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>

カナダ薬剤師
Shimpei (青山慎平)



<https://www.facebook.com/shinshinskysky/>



<https://twitter.com/shinshinskysky>



shimpeiaoyama@shawnsworld.net (お問い合わせ)



<http://shawnsworld.net>

真面目に書きましたが、人の相談に乗ったり、一緒に考えたりする
のが大好きです☆ 気軽に連絡ください♪

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>



shawnsworld.net

Shimpei のブログを応援してください



<http://shawnsworld.net>